

## 《施工要領》

ビックワン BGタイプ(スチール)

(金属系アンカー／ウェッジ式)

## 1. はじめに

本製品は金属系アンカー ウェッジ式のビックワン BG タイプ(スチール)です。

本体をハンマー等で打ち込み、トルクレンチで規定のトルク値までナットを締め付ける事により、本体が引き上げられ、テーパーに沿ってウェッジが拡張し、アンカーがコンクリートに固着されます。

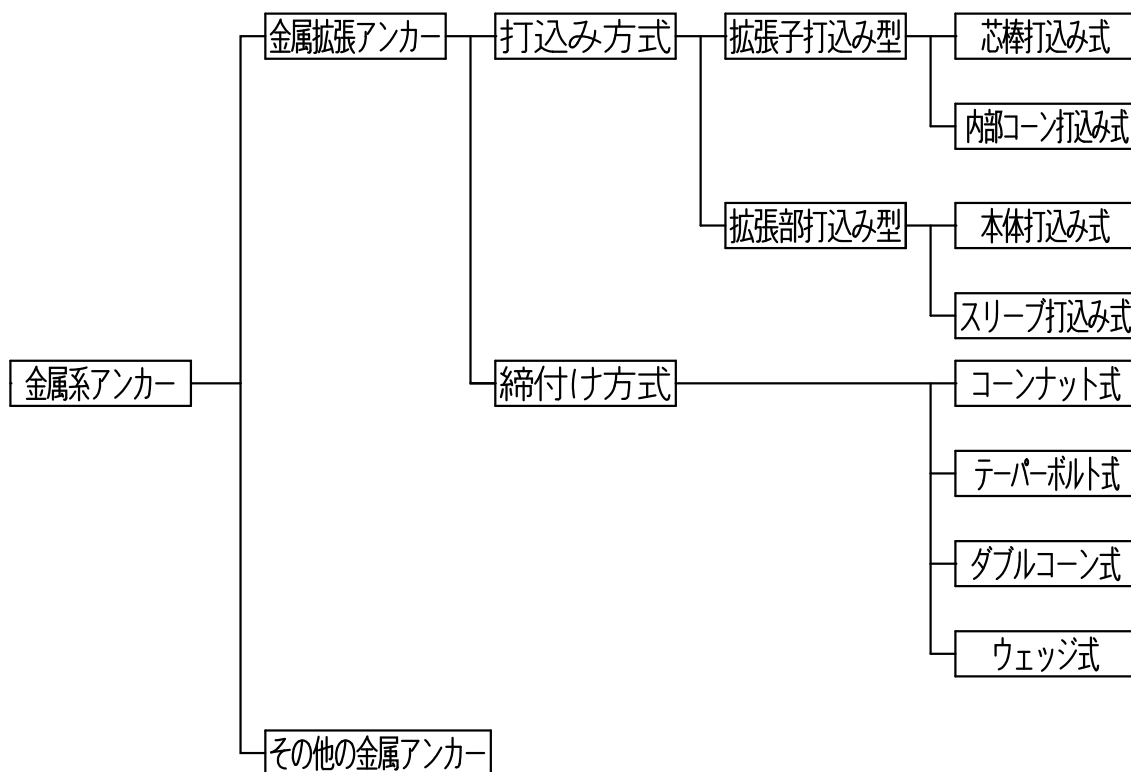


図 1. 金属系アンカー系統図

本「施工要領書」はユニカ金属系アンカーのご使用に際し、アンカー施工の安全性と確実性を確保する事を目的としています。

ユニカ金属系アンカーの施工に際しましては、本施工要領書を熟読賜りますようお願い申し上げます。

## 2. 施工

### 2. 1 施工仕様

下記に示す仕様にて施工を行って下さい。

表 1. ビッグワン BG タイプ (スチール) 施工仕様一覧

品番	ねじ径 (外径)	全長 (mm)	頭部刻印	ねじ長 (mm)	最大 使用厚 (mm)	穿孔径 (mm)	穿孔 深さ (mm)	埋込 長さ (mm)	有効埋 込長さ (mm)
BG-860	M8	60	B	25.0	5	8.0	52 以上	43 以上	35 以上
BG-870		70	C	35.0	15				
BG-1070	M10	70	C	26.5	4	10.0	60 以上	52 以上	42 以上
BG-1080		80	D	36.5	13				
BG-1090		90	E	46.5	22				
BG-1010		100	F	56.5	32				
BG-1280	M12	80	D	29.0	4	12.0	68 以上	61 以上	50 以上
BG-1290		90	E	39.0	12				
BG-1210		100	F	49.0	22				
BG-1212		120	H	69.0	42				
BG-1215		150	K	99.0	72				
BG-1612	M16	120	H	59.0	25	16.0	80 以上	71 以上	60 以上
BG-1614		140	J	79.0	45				

表 2. ねじ径に対するナット二面幅と締付けトルク

ねじ径	M8	M10	M12	M16
ナット二面幅	13mm	17mm	19mm	24mm
締付けトルク	15N・m	30N・m	45N・m	100N・m

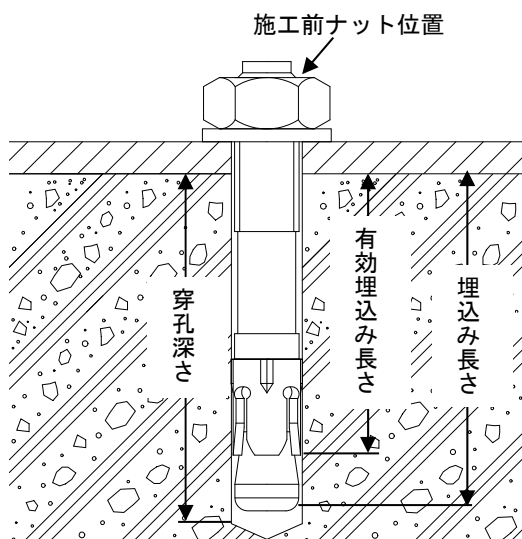


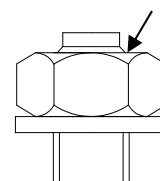
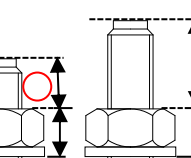
図 2. 各種深さと施工前ナット位置

**⚠ 注意事項**

締め付け前  
締付けによるナットの移動量が判  
るように、アンカー本体埋込部  
のテーパード部にナットを合わせて  
から施工してください。

↓

施工確認  
ナット締め完了時、締め前  
に対してねじ部がナット高さ1  
個分以上出ると、そのアン  
カーは使用しないでください。

使用しない

表 3. ビッグワン専用打込棒(機械打用 SDS)

品番	適合アンカーねじ径	全長
BG-SD	M8,M10,M12	160mm
BG-16SD	M16	160mm

\*BG、BGS、BG-D タイプ以外のアンカーに使用  
しないでください。

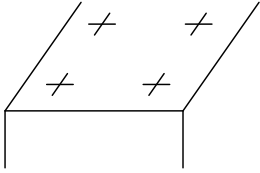
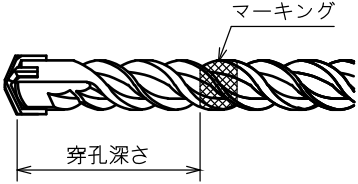
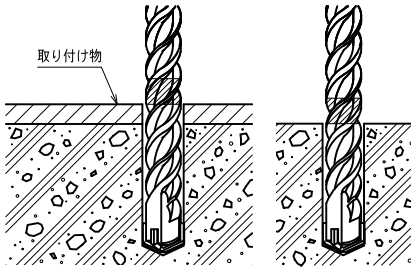
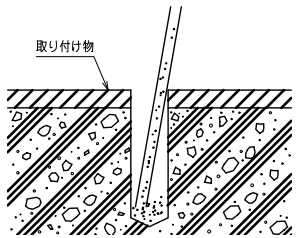


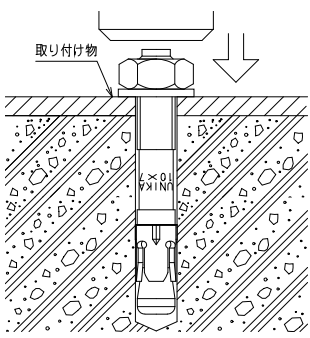
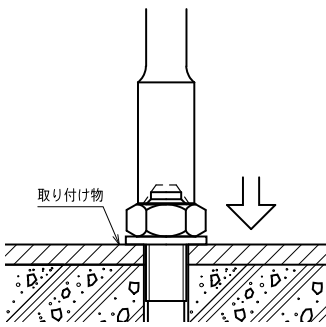
## 2. 2母材

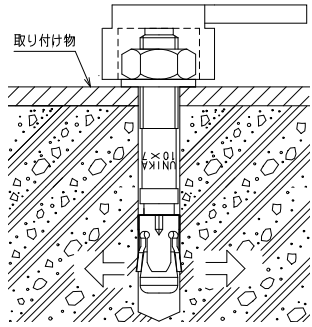
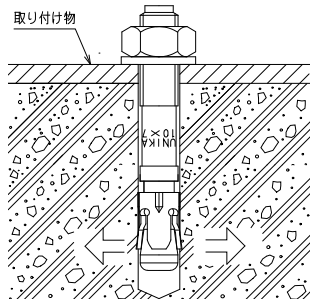
ビッグワン BG タイプは普通コンクリート、石材への施工が可能です。

## 2. 3 施工手順

表 4. ビッグワン BG タイプ (スチール) 施工手順

	施工手順	注意事項
①	墨出し 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図面等の指示に従い、アンカーの施工位置に墨出しを行います。</li> <li>・ 既に墨出しが行われている場合は、その位置をご確認ください。</li> </ul>
②	ドリルビットへのマーキング 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表 1 の品番に合った径のドリルビットを選定します。</li> <li>・ ドリルビットの肩から穿孔長を測り、ビニールテープ等でマークします。</li> <li>・ <u>取り付け物の上や仕上げ材の上から穿孔する場合は、これらの厚さを加えた分を穿孔深さとしてください。</u></li> </ul>
③	母材への穿孔 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 墨出しを行った位置に取り付け物の上からまたは母材へ直接穿孔を行います。</li> <li>・ 穿孔は施工面に直角になるように行います。</li> </ul> <p>* 以下、取り付け物越しの施工を例に致します。</p>
④	孔内の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集塵機、ブロワー等で孔内の切粉を除去します。</li> <li>・ 孔内に切粉が残りますと不具合が発生する可能性があるため、確実に除去してください。</li> </ul>

<p>⑤ 孔内へアンカーの挿入 (ハンマー)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンカー本体頭部のテーパード部にナットを合わせてください。</li> <li>・ アンカー端部をハンマーで叩き、ワッシャーと取り付け物、ナットとワッシャーがそれぞれ接するまで孔内に打ち込み・挿入をしてください。</li> <li>・ アンカーのサイズにより適にハンマーの重さを変更してください。</li> <li>・ <u>取り付け物や母材の仕上げ材がある場合は、その厚さを考慮して、埋込み長さを調整してください。</u></li> </ul> <p>* 必ず、正常な母材にアンカー埋込み長さが埋込まれるように施工してください。</p>
<p>孔内へアンカーの挿入 (ビッグワン専用打込棒・機械打用 SDS)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンカー本体頭部のテーパード部にナットを合わせてください。</li> <li>・ 専用打込棒を SDS 電動機に取り付け、太径側凹部をアンカー端部に当ててから、電動機側のスイッチを入れて打ち込みを開始してください。</li> <li>・ ワッシャーと取り付け物、ナットとワッシャーがそれぞれ接するまで孔内に打ち込み・挿入をしてください。</li> <li>・ アンカーのサイズにより適に電動機の出力・打撃力を変更してください。</li> <li>・ <u>取り付け物や母材の仕上げ材がある場合は、その厚さを考慮して、埋込み長さを調整してください。</u></li> <li>・ <u>電動機の打撃でナットが回転することがありますので、過度にナットが動いた場合は、ナットを規定位置にセットし直し、再度打込んでください。</u></li> </ul> <p>* 必ず、正常な母材にアンカー埋込み長さが埋込まれるように施工してください。</p>

<p>⑥</p>	<p>ナットの締付け</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トルクレンチで表 2 のねじ径に合ったトルク値までナットを締付けてください。</li> <li>* ナット締付け完了時、締付け前に対してねじ部がナット高さ 1 個分以上出る場合、そのアンカーは使用しないでください。</li> </ul>
<p>⑦</p>	<p>施工完了</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウェッジ 3 面が本体テーパーに沿って拡張し、施工完了となります。</li> <li>* 施工完了後、ナットを外してから再度締付けを行う場合も、表 2 のトルク値まで締付けてください。</li> </ul>

### 3. 取り扱い上の注意事項

#### 3. 1 ご使用になる前に

##### 3. 1. 1 取り付け面および取り付け物の確認

施工面、母材などについて以下の項目をご確認ください。

- ① 取り付け面が均一な平面であること。
- ② 取り付けの対象となるコンクリートは JIS で規定されている普通のコンクリートであること。
- ③ 取り付け物と取り付け面にすき間のないこと。
- ④ 取り付け物とナット、ワッシャーの間にすき間のないこと。
- ⑤ 仕上げ材の有無および、その厚さの確認。

※①②③④に該当しない場合、当アンカーを使用しないでください。

##### 3. 1. 2 アンカーの点検

ご使用前に以下のようなアンカーの損傷が見られる場合は、使用を中止し現場管理者ならびに購入先または弊社までご連絡ください。

- ① 本体やナットねじ部のへこみ、欠け等。
- ② その他アンカー本体の損傷。
- ③ ウェッジ部のへこみ、欠け等。

※トルクが正常に掛らないなど安全に施工を行えない恐れがあります。

### 3. 2安全に関する注意事項

- ① 施工時は必ず安全メガネ、ヘルメットなど保護具を着用してください。
- ② 孔内の切粉は集塵機またはブロワーできれいに取り除いてください。
- ③ 取り付け物の上から使用する場合や、母材に仕上げ材がある場合は、その厚さに応じて埋込長さを調整してください。
- ④ 孔への打ち込み前にアンカー本体頭部のテーパ一端部にナットを合わせてから施工してください。
- ⑤ 施工はトルクレンチを用い、規定のトルクで締付けてください。

### 3. 3異常に対する処理

施工中に次のような異常が発生した場合、ただちに作業を中止し、現場管理者ならびに購入先または弊社までご連絡ください。

- ① アンカー本体が正常に挿入できない。
- ② アンカー本体の損傷。
- ③ 規定のトルク値が出ない。

### 3. 4その他

本製品は金属製のため、使用環境によっては腐食の恐れがあります。ご考慮ください。